

日本語索引

- 1 本文の事物・行為に付した名称キャプションを、五十音順に配列した。
- 2 表記は図番号—キャプション番号とし、掲載頁順に記載した。
- 3 日本の国語辞典などに説明がなく、日本語として理解困難な朝鮮時代の事物については、項目名の後に簡単な解説を記載した。

あ

- アーチ33-18
- 泥障13-11、32-21、47-32、48-23
- 赤・青の巻き糸50-6
- 明り障子1-3
- 明り窓6-32、9-7、37-44
- 赤ん坊10-29、30-26
- 胡坐をかく10-21、17-20、27-27、42-33
- 鬚鬚2-16、5-9、7-13、9-34、10-11、16-21、19-4、20-24、22-22、25-24、27-19、28-3、30-3、31-2、32-36、37-24
- 脚23-14
- 足引き23-11
- 足引き紐23-5
- 網代垣44-39、53-35
- 網代垣の柱53-36
- 網代垣の横棧53-37
- 網代壁33-34
- 足を縛って仰向けにする28-9
- 畦4-33
- 鏡13-12、32-22、34-19、47-33、48-24
- 飴16-26
- 飴売り34-2
- 飴売り少年16-24、47-58
- 飴盛り板16-27、34-16
- 粗櫛12-9
- 編んだ髪38-15
- 行燈35-19、36-35
- 息杖18-24、20-6、30-11
- 池46-31
- 生垣1-44、7-52、9-42
- 石垣9-37、42-35、52-39
- 石垣越しに見る42-26
- 石橋47-47、54-35
- 石欄干54-38
- 板石29-42
- 板敷41-46
- 板の間49-50、50-16
- 糸22-13
- 井戸11-12
- 井戸側11-13
- 糸車1-11、22-11
- 糸を紡ぐ1-15、22-18
- 糸を巻いた管22-9、23-25
- 稲竿 (ビョッカリッテ)9-2
陰暦の正月14日に、藁を束ねて中に稲、きび、ひえ、粟などの穂を包み、先端をしばって立てる長竿で、禾積ともいう。家の近くに立て、縄を張って固定する。豊作を祈願する予祝行事。
- 稲束7-1、20-1
- 稲束を打ち付けて脱穀する7-6、20-15
- 稲束を縛り付けた紐を手首にかける20-19
- 稲束を縛る20-28
- 稲束を運ぶ20-9
- 犬3-27、9-32、10-39、50-41
- 入母屋33-5、34-33、49-45
- 祝い膳50-4
- 祝いの食物49-24
- 祝いの机 (交拜床)49-23
- 岩の間からのぞき見る38-25
- 白8-6
- 団扇31-35、54-2
- うない髪10-34、23-36、47-9
- 馬13-9、14-2、15-29、28-16、32-8、33-23、45-4、46-5、48-20
- 上着を脱ぐ37-25
- 柄6-18、25-49、52-3
- 柄付小鼓54-5
- 柄付太鼓31-5
- 箆45-1
- 杓6-29
- 襟12-3、13-21、19-26、23-32、29-8、40-6、41-4
- 魃 (防簾)24-1
- 縁側7-40、49-39
- 円座51-17
- 円柱33-12
- 負い紐34-11、53-45
- 黄牛4-10、5-21、14-3、15-8、33-31
朝鮮土着の牛の一種で、毛が黄色く大きい牛。

- 力が強いことで、農作の重要な労働力とされた。
- 覆い土……………3-16
- 大太鼓（法鼓）……………43-1
- 大鉢……………29-17、41-10、51-22
- 大棟……………33-2、46-27、49-1
- 女将（酒母）……………29-4、41-1
- 箆……………23-17
- 押さえ縄……………8-39
- お下げ髪……………1-31、2-26、9-22、16-28、19-14、26-26、31-30、34-15、35-29、36-32、45-27、47-21、49-28、50-23、52-24、53-3、54-13
- お下げ髪の前飾り（デンギ）……………11-17、12-13、31-31、38-4、40-23、43-33、49-29、52-25、53-4、54-14
- お下げ髪を前方に垂らす……………18-11
- 押切り……………27-7
- 押切りで刻む……………33-27
- 帯……………17-4
- 帯（紅細条帯）……………40-21
- 帯（広多絵）……………37-18、42-13、53-25
- 帯（細条帯）……………12-26、15-23、36-6、40-33、41-37、43-17、44-20、46-3、48-5、49-12、50-10、51-33、54-29
- 帯（戦帯）……………44-26、45-17、46-21、52-33、54-24
- 緒巻……………23-6
- 面懸……………13-14、14-18、28-18、48-21
- 重石……………1-13、22-14、23-43
- 雄鶏……………50-40
- おんぶ紐……………8-10、10-31、30-28
- 掛け糸吊し……………23-3
- 掛け襟……………19-27、23-33、29-9
- 箆……………3-2、10-38、24-6、28-23、30-20、48-38
- 箆の縁……………30-21
- 笠……………7-14、14-6、15-7、35-28、54-1
- 笠（氈帽）……………53-12
- 傘飾り（流蘇）……………52-4
- 風車……………23-37
- 笠の飾り紐（貝纒）……………13-40、32-35、48-14
- 笠紐……………11-25、13-2、16-14、19-29、20-33、29-31、36-16、37-5、39-3、40-20、41-27、42-8、43-15、48-3、54-30
- 笠（氈帽）の紐……………53-13
- 飾り瓦（雑像）……………33-6
- 屋根の隅棟の筒瓦の上を飾るさまざまな動物の形をした像で、吉祥の意味と同時に火災を防ぎ、悪魔を抑える機能を持つ。数は建造物の規模によるが、三、五、七、九、といった奇数で用いられる。民家には使われず、主に宮殿や城郭建築に使われる。
- 飾り羽根（槩毛）……………34-6、44-23、46-18
- 笠を膝において座る……………54-17
- 頭貫……………33-11
- 衙前・官職……………33-24
- 肩衣……………3-24、6-2、15-16、20-10、21-2、22-30、24-4、27-20
- 片手を地面につく……………40-11
- 片肌ぬぎ……………10-13、18-9、27-3
- 片膝立て……………1-16、2-27、10-10、12-8、15-14、16-18、17-14、19-19、22-7、24-21、42-19
- 片膝立てをして膝を抱える……………40-18
- 片膝を立てて木にもたれる……………18-20
- 片目で垂直を測る……………25-21
- 肩を抱く……………50-26
- 花壇……………49-58
- 鶯鳥……………54-45
- かつぎ（長衣）……………13-20、31-14、32-2、43-28、48-39
- 女性が外出する時に顔を覆い隠すために使うかつぎの一種。朝鮮時代の初期には庶民の婦女子のみが用いたが、中・後期以降は両班の女性も使用するようになった。表地は緑、裏地は紫で、襟と結び紐（ゴルム）は紫、袖先は白にするのが一般的であった。
- かつぎ（長衣）で顔をおおう……………13-23
- かつぎ（長衣）の襟……………43-27
- かつぎ（長衣）の結び紐……………31-16、43-29
- かつぎ（チョネ）……………42-23、43-24

か

- 蚕棚（蠶架）……………1-4
- 顔を洗う……………38-5
- 篝火……………35-2、44-27
- 花冠……………49-15
- 女性の礼服に伴う冠帽の一つ。大礼服の着用時にかぶる礼冠の一種で、七宝焼や五色の宝石などで飾る。庶民の間では婚礼の首飾として用いられ、宮中舞踊を踊る舞妓も花冠をかぶった。
- 垣根……………9-4、29-43
- 角帯……………32-18、44-13、48-28、49-8
- 角巾着……………37-26、40-32、43-36、51-28、53-9、54-27
- 楽隊……………47-11
- 楽隊（大吹打）……………45-8
- 角柱……………2-12、8-33、25-19、50-31
- 攪拌棒……………24-17
- 掛け糸竹……………23-8

庶民の女性が外出する時に使用する被り物で、チマの形に似ている。長衣より短く、袖は付いていない。

かつぎ(チョネ)の紐……………43-31
 鞆鼓(長鼓)……………17-19、42-28、45-14、47-14
 金床……………26-14
 金床台……………26-15
 鉦……………43-11
 曲尺……………25-41
 花瓶……………49-26
 花瓶台……………49-27
 壁に寄りかかって休む……………34-1
 火防壁……………7-46、9-8、36-37、37-3、44-44、47-53、48-48
 家の外壁を貫の上は土で薄く塗り、下は石や瓦を混ぜて柱より外に出るように厚く塗って積んで火災や雨に耐えるようにした壁の一種。道に面した建物の外壁によく施される。

釜……………24-18、41-14
 鎌……………26-28
 蒲団扇……………10-3
 竈……………24-19、29-20、41-15
 鎌を研ぐ……………26-27
 紙……………52-28
 髪を編む……………12-1
 髪を洗う……………38-7
 禿……………31-28
 甕……………24-12、29-16、34-35
 甕置き台……………7-54、8-31、50-36
 甕の蓋(ソレギ)……………9-9
 鶯鳥……………54-45
 髷……………39-20
 髷を入れて髪を編む……………39-22
 伽椰琴……………40-38
 碓……………8-1
 碓を搗く……………8-19
 唐竿……………6-6
 皮履……………37-39、38-12、41-36、43-19
 皮履(雲鞋)……………53-19
 皮履(黒鞋)……………36-13、37-21
 皮履(太史鞋)……………25-54、53-27
 皮履(バルマク)……………1-38、4-25、9-19、16-20、17-7、20-39、25-29、44-21、46-17、47-7、48-7
 瓦塀……………49-44
 瓦屋根……………25-8、36-41、41-51、44-42、46-28、47-51、48-45、49-2、50-28、54-47
 瓦を片手で受け取る……………25-1
 瓦を投げ上げる……………25-15

雁……………32-38、54-44
 官印箱……………52-22
 官妓……………35-20
 宮廷または官衙に隷属する妓女で、宴会で舞踊と音楽を提供したり、妻を伴わず辺境に赴いた軍人、地方官僚の伽を主な仕事とした。カリマ(加里磨)と呼ばれる四角い封筒状の黒い被り物をかぶって身分を表わした。

簪……………1-19
 観察司・官職……………45-21
 監司・官職……………35-21
 官船……………35-1
 鉦屑……………25-37
 鉦台……………25-36
 鉦の取っ手……………25-34
 鉦刃……………25-35
 鉦をかける……………25-32
 官奴(通引)……………35-25
 地方官衙に属する少年の奴婢で、雑事の使い走りをしてきた小間使い。

門……………37-45
 冠……………17-2、49-17、50-20
 冠(四方冠)……………2-15、7-21、19-1、22-19、25-51
 冠(宕巾)……………4-22、15-21、43-12、51-11
 雁持ち(雁夫)……………32-33、48-12
 結婚式の奠雁の礼に用いられる雁を持って、花嫁迎いの行列に同行する役。雁夫とも呼ばれる。主に花婿の親族がその役割を担う。雁は一度結ばれると添い遂げるといわれ、花嫁に対する一生変わらない誓約を象徴するもので、雁持ちによって運ばれた雁は、奠雁の礼に婚主(父親)に捧げられる。

木履……………1-35、7-25
 妓女用被り物(カリマ)……………53-20
 幅65センチほどの黒い絹または木綿を二重に折って、そのなかを厚い紙を張り合わせて作るもので、四角い封筒の形状をする。宮中の医女や針線婢、各営・邑の官妓が身分を区別するためにかぶった被り物である。

煙管……………5-15、14-24、18-18、24-10、29-24
 基壇(二層壇)……………50-34
 木槌……………8-22
 砧……………12-19
 砧で打つ……………12-20、39-17
 杵……………8-5
 木の枝に登って見物……………47-44
 黍箒……………8-21
 木彫りの雁……………48-16

- 脚絆 ……1-37、4-5、6-14、7-5、8-29、9-36、13-44、
14-10、16-9、17-6、18-4、20-35、25-28、26-19、
30-8、32-29、36-11、37-20、40-39、41-35、43-7、
44-29、47-6、48-6、49-56、52-19、53-10、54-10
- 橋脚 ……3-18、4-38、47-50、54-39
- 橋頭 ……54-37
- 胸壁 ……33-16
- 御賜花 ……47-35
文武科の科挙及第者に王から下賜される紙製の造花。細い竹を紙で包み、紅・紫・黄色の紙の花で飾り、竹の一方を帽子に固定して他の一方を頭の前方にしならせる。科挙及第者以外は、宮中の宴会に参加した臣下が、飾りとして紗帽に挿した。
- 漁船 ……24-22
- 切妻 ……6-30、34-36
- 巾着 ……1-36、6-3、7-12、9-12、10-23、14-26、16-8、
17-16、20-13、25-12、26-9、28-7、29-27、30-6、
31-22、32-32、36-8、49-55
- 巾着から銭を取り出す ……31-23、43-37
- 巾着の飾り紐（多絵） ……36-19、37-28
- 草笠 ……4-1、15-22、19-28、36-1、37-15、41-26、43-9、
48-42、49-31、51-29、54-32
両班・平民ともに着用した草もしくは竹（竹絲）で編んだ帽子。ただし両班は50竹（縦糸の数）、庶民は30竹を利用することで身分を区別した。軍服（戦服）姿に頭巾（幅巾）をかぶり、さらにその上に草笠をかぶるのが通例である。また、冠礼をあげた少年も黒笠をかぶる前まで着用した。
- 草葺き上屋 ……1-43、7-47、9-39、53-31
- 草屋根 ……1-1、2-8、6-31、7-32、8-36、9-3、29-1、37-1、
41-52、42-1、44-35、47-45、48-50、52-38、53-42
- 孔雀羽 ……34-3、35-7、45-26、47-23
- 管 ……1-17、22-10、23-27
- 管卷 ……1-12、22-12
- 降り棟 ……33-4、49-3
- 管をいれる壺 ……23-28
- 履紐 ……8-18、11-27、13-45、16-29、18-13、25-39、
29-40、30-10
- 轡 ……14-17、28-17
- 軛 ……4-12、21-11
- 熊手鋤・三本鋤 ……1-27、4-3、21-4
- 熊手鋤・四本鋤 ……21-5
- 熊手鋤で耕す ……21-7
- 鞍 ……13-13、32-7、34-18、47-39
- 鞍当て ……13-30、14-30
- 車付き輿（輶軒） ……46-14
- 枢 ……52-2
- 黒笠の紐 ……42-30
- 軍服（狭袖） ……17-24、34-5、44-24、45-16、46-19、47-19
- 軍服（鶺鴒衣） ……41-43、52-32、54-23
- 軍服（戦服） ……17-25、34-4、44-25、45-15、46-20、47-20
- 芸人（優人） ……47-22
- 削り台 ……25-38
- 桁 ……23-13
- 下男 ……36-31
- 蹴放 ……37-41、50-44
- 弦 ……25-43
- 間竿 ……25-53
- 見物人 ……45-28
- 小石 ……18-15
- 格子戸 ……46-29
- 格子窓 ……34-31、44-43、47-46、48-46、52-37
- 公服（団領） ……32-16、44-12、47-36、48-27、49-7
朝鮮時代の官僚が着用した公服。上下がつながり、袖の幅が広く、丈は踵まで届くほど長い。襟が丸いことから団領と呼ばれた。
- 香袋 ……36-22、37-27
- 子馬 ……13-7
- 紅門 ……52-36
陵・園・廟・宮廷・官衙など、公共の建造物の正面につながる出入り口に建てられた屋根のない朱塗りの門。二本の柱の上部には朱色の棧を付けた。紅箭門ともいう。
- 胡弓 ……17-27、35-12、40-35
- 黒衣 ……7-29、31-3、54-12
- 穀物入れ ……6-10
- 莫産 ……50-11、51-18
- 輿（双轎） ……45-20
- 輿（藍輿） ……52-11
- 腰当の紐 ……23-16
- 腰帯 ……1-10、2-7、3-7、11-5、14-21、19-6、20-12、
22-5、36-28、39-27、40-24、41-7、43-35、48-34、
49-20、53-15
- 輿舁き ……52-15
- 腰掛 ……23-15
- 腰格子戸 ……33-35、49-36
- 輿を操る ……46-7
- 腰を屈めて合掌する ……7-31
- 腰を屈めて喜捨を乞う ……43-23
- 子供 ……8-9、9-28、13-24、29-21、47-8、48-44
- 子供を負おう ……8-15、9-29、13-41、23-34、30-25、54-26
- 子供を負って座る ……15-31
- 子供を抱く ……9-31、47-43
- 子供を塀に座らせる ……47-42

ゴヌ遊びをする	18-16
将棋盤のような盤を地面や紙に書き、駒を動かして相手の駒を取って勝負を競うはさみ将棋に似たもの。特別な道具がなくても遊べるので、子供から大人まで幅広い年齢層が楽しんだ庶民の遊びである。	
ゴヌ盤	18-14
小鉢	29-37、51-21
駒の小石を摘む	18-10
米	42-21
米櫃	41-48
薦燵	2-19、22-26
小脇に抱える	34-10
壊れた黒笠を拾う	37-32
棍棒	33-26、52-35
棍棒 (棍杖)	33-21、45-18
棍棒 (朱杖)	45-19
棍棒 (鐵鞭)	45-24

さ

棹	24-13
盃	40-28
盃で酒を飲む	10-18
魚	24-8
魚を受け取る	24-9
魚を手を持つ	24-15
酒瓶	3-20、10-25、20-42、40-27、41-12、51-13
作業を監督する	25-50
作場道	4-34
下げおろした髪	13-16
下げ髪	10-24、29-23
支え木	23-42
支え綱	26-3
支え綱を持つ	8-16
匙	10-7、29-34
匙で食事をする	10-19
刺し縫いチョゴリ	36-21
刺し縫いパッチ	36-30
皿	10-16、29-36
筧	22-17、23-26
猿麻栲笠	31-7
棧	7-50、18-28
三角帽子	1-5、5-14、6-21、14-1、20-27、26-5、27-18、28-2、54-7
ざんばら髪	3-23、5-18、7-2、14-7、15-24、18-7、19-21、22-29、24-16、30-23、32-12

枝折戸	1-41、42-34、44-38
鹿皮履	32-39、44-14、46-22、47-38、48-17、49-9
敷き物	54-18
軸木	6-17
指示棒 (書算棒)	19-8、22-33
萩や柴の茎で作った細い棒。本の間に挟み、読書の回数を数えるために用いられるほか、本を読む時に字を指し示したり、時には鞭としても使われた。書堂 (寺小屋) の必需品。	
下着のパッチ	3-8、4-29、8-13、9-27、10-33、11-7、12-7、23-47、30-31、31-25、32-10、37-38、38-11、39-15、43-26、48-37、53-18
下着のパッチ (ダンソッゴッ)	31-24、36-29、37-37、48-36、53-17
下鞍	14-31、15-26
下働き	41-16
支柱	8-3
柴垣	52-41
鴟尾	33-3
地面に座る	34-17
地面に手を付く	16-12
しゃがむ	10-26、38-8
笏	32-17、37-22、47-37、48-29
杓子	29-14、41-9、51-23
遮面扇	43-20、53-24
四角い紗の切れの左右に木の棒を当てたもので、両班の男性が外出時に人の前で顔を隠す時に用いた必需品であった。婚礼の際にも新郎が顔を隠すために用いた。不透明であるために外側からは見えないが、内側からは相手が見えるようになっている。	
車輪	46-15
従者	53-1
修行僧	38-23
授乳する	10-28
撞木	31-10
笙	35-13
上衣 (紅衣)	36-5、37-17、41-29、51-3、54-33
上衣 (号衣)	17-15、32-27、48-10、52-18
上衣 (鼈衣)	41-39
上衣 (小鼈衣)	1-32、2-17、7-22、9-17、16-22、17-21、19-25、22-23、25-52、36-7、39-4、40-29、44-5、46-9、47-27、51-12、54-16
上衣 (中致莫)	4-23、16-17、20-32、36-17、37-7、41-33、43-16、48-4、51-7
上衣 (帖裏)	11-23、34-9、35-22、37-19、41-38、42-11、44-10、45-23、46-16、47-4、48-31、49-30、

52-7、53-26
 上衣（帖裏）の襟 ……………41-45
 上衣（道袍） ……12-24、13-6、15-4、19-5、37-13、40-5、
 44-18、46-2、49-11、50-9、51-31、53-30、54-28
 少女 ……………9-21
 上半身裸 ……………5-13、7-7、10-2、18-8、20-26、21-6、
 25-18、27-24、28-5、38-2、39-25
 錠前 ……………27-14
 醬油甕 ……………7-53、8-30、9-10、50-35、53-38
 城楼 ……………33-1
 城門または城壁の上に建てた城閣で、望楼ともい
 う。
 食事をする ……………29-41
 燭台 ……………49-25
 食器棚 ……………41-49
 食器戸棚 ……………41-47
 食器を手に持つ ……………10-17
 書物 ……………2-25、19-20、22-32、27-22
 鞆 ……13-10、14-16、15-28、32-13、34-20、47-31、48-40
 尻枷 ……………4-16、13-39、15-10
 尻丸出しの子供 ……………12-11
 使令・官職 ……………33-25
 新婦姿の妻 ……………49-14
 新郎 ……………32-14、48-25
 新郎姿の夫 ……………49-5
 水槽 ……………26-21
 犁 ……………1-23、4-18、21-14
 鋤（カレー） ……………5-1
 鋤柄 ……………5-5
 梳櫛 ……………12-10
 犁先 ……………1-24、4-20、21-17
 鋤先 ……………5-3
 犁で耕す ……………4-21、21-19
 鋤で耕す ……………5-7
 犁柱 ……………21-16
 犁身 ……………4-19、21-18
 頭巾 ……………14-20、51-35
 頭巾（幅巾） ……………48-43、49-32、51-1、53-28
 頭巾（幞頭） ……………47-34
 頭上運搬 ……1-40、3-14、11-29、30-24、31-29、34-14、
 38-19、54-42
 鈴 ……………32-20
 硯 ……………19-11、50-5、52-27
 硯台 ……………19-12
 硯箱 ……………19-9
 硯箱の蓋 ……………19-10
 裾紐 ……6-19、7-24、9-14、14-27、16-10、19-17、36-23、

37-10、39-10、41-23
 炭 ……………26-2
 墨糸 ……………25-30
 墨壺 ……………25-31
 相撲（シルム）を取る ……………16-1
 摺臼 ……………6-16
 背当て ……………18-27、26-24
 正座する ……………2-23
 青紗燈籠 ……………32-40、35-27、44-22、48-8
 青色の薄い紗で笠の本体を作り、上下に紅の縁
 どりをした提灯。主に宮廷で使われたが、宮廷以
 外でも、正三品から正二品までの両班官僚が夜の
 外出に用いた。庶民は結婚式のみはその使用が許
 され、結婚を象徴する表現にもなっている。
 背負梯子（チゲ） ……3-21、18-25、20-2、26-22、30-15
 背負梯子の脚 ……………18-29、20-4、26-25、30-17
 背負梯子の爪 ……………3-22、20-3、30-16
 背負梯子を背負う ……………18-23、30-19
 背負い紐 ……………18-26、20-5、26-23、30-18
 背負う ……………34-24、52-21
 銭 ……………31-12、54-19
 銭を取り出す ……………29-25
 膳 ……………40-26、49-53
 扇子 ……12-25、13-4、15-6、16-15、27-21、34-28、36-9、
 40-22、41-40、42-10、43-22、46-25、47-24、52-8、
 53-29
 扇子越しに見る ……………12-27、16-16、54-34
 扇子で顔を隠す ……………13-5
 洗濯台 ……………12-18
 洗濯物 ……………12-17、39-18
 洗濯物を絞る ……………12-16
 洗濯物を干す ……………2-2、39-28
 先導 ……………47-1
 添い髻 ……………32-1
 僧衣 ……………54-8
 綜統 ……………23-9
 装蹄鎚 ……………28-4
 礎石 ……………1-22、7-43、8-35、25-20、49-38、50-32
 粗朶 ……………15-9、18-22
 袖口 ……11-4、12-5、13-22、29-10、31-15、32-3、41-6、
 43-30
 袖引き ……………42-14

た

台鉦 ……………25-33
 太鼓 ……………17-9、47-15

太鼓台……………43-2
 太鼓吊るし台……………17-8
 松明……………44-28
 松明を背負う……………44-31
 箍……………11-15、30-14
 高床……………33-13
 焚き火……………5-17
 たくし上げたチマ……………12-14、39-26
 たくし上げたチマ（ゴドルチマ）……………3-6、8-12、11-18、30-29、31-34、40-25
 丈の長いチマを地面に引きずらないように、たくし上げ腰紐で巻きつけて留めたチマ。両班家の女性の場合は歩きやすくするために、庶民の女性は労働のために丈の長さを短くして活動しやすくしたもので、ゴドルチマと呼んだ。一方、妓女はたくしあげて、わざと下着が見えるように着用したが、これをジュリッテチマと呼び、ゴドルチマと区別した。
 たくし上げたチマ（ジュリッテチマ）……………36-27、37-36、43-40、53-16
 たくし上げたパッチ……………5-11、6-4、12-15
 托鉢僧……………7-27
 竹笠……………29-30
 竹箒……………6-28、7-18、20-25
 畳んだかつぎ（長衣）……………31-18
 畳んだかつぎ（チョネ）……………43-38
 脱穀台……………7-9、20-18
 脱穀を監督する……………7-23
 手綱 ……4-15、13-35、14-14、21-13、28-19、32-9、47-30、48-22
 経糸……………23-41
 経糸の糊付け……………23-46
 豎白……………6-27
 豎畝……………4-32
 たてがみ……………14-13、28-20、32-19
 豎杵……………6-26
 縦笛……………17-23、35-10、42-31、45-11、47-13
 棚店……………33-33
 種子をまく……………4-30
 煙草入れ……………20-41、40-10
 煙草の葉……………27-10
 煙草の葉のくず……………27-11
 煙草の葉の筋……………27-26
 煙草の葉を刻む……………27-9
 煙草の葉を整える……………27-25
 煙草を煙管に詰める……………14-29
 足袋……………16-11、17-17、19-18、20-20、36-12、51-10

食べ物を盛る……………29-12
 盥……………23-45、31-27、39-19
 樽……………30-12
 垂木 ……1-2、2-9、6-33、7-34、8-37、9-5、29-2、33-9、37-2、42-2、44-36、48-47、49-47、50-29、53-33
 たればかま……………5-19
 たればかま風のパッチ（オンゲパッチ）……………1-34、9-13
 俵……………6-8、7-19、8-23、34-12
 俵を締める……………7-20、8-24
 短髪……………29-22
 竹夫人……………40-13
 乳を飲む……………13-8
 帙……………2-13
 チマ ……1-7、2-4、4-28、6-25、9-26、10-32、11-6、12-6、13-26、15-13、22-6、23-24、29-11、31-21、32-6、38-6、39-14、40-17、41-8、42-15、43-25、44-34、47-57、48-35、49-21、50-19、51-16、53-41、54-4
 女性の下衣。何枚かの幅の広い布を継ぎ合わせてひだを付け、上端の紐胸の辺りで結ぶ。両班家の婦女子は幅が広く、丈も引きずるほど長いチマを好み、庶民の女子は幅が狭く短いチマを着用した。両班家や良民の女性はチマの裾を左から右に回し、賤民や妓女は右から左に回して身分を表わした。
 チマの裾を持つ……………3-9
 チマの紐を掴む……………23-35
 茶碗を膝の上に載せる……………10-35
 中門……………49-41
 提燈……………35-18、44-40
 蝶番……………27-8
 手斧……………25-48
 チョゴリ ……1-28、2-3、4-2、5-10、6-11、7-3、8-26、9-11、10-5、13-17、14-8、15-12、16-4、18-2、19-15、23-38、24-11、25-25、26-6、27-4、28-14、29-6、30-4、32-4、36-33、37-8、39-8、40-30、41-18、42-25、43-5、44-6、46-10、47-10、49-54、50-24、51-32、52-23、53-6
 上下分離式の衣装における男女の上着の総称。襟、結び紐（ゴルム）は共通しており、襟には白い掛け襟をつける。
 チョゴリ（五色のチョゴリ）……………50-2
 チョゴリ（三回装）……………38-10、49-19、53-40
 女性のチョゴリの一種で、襟、結び紐（ゴルム）、わき下は紫色、袖先は紫か藍色を当てたもので、藍色のチマと着る三回装チョゴリは最高の礼服とされた。両班家の婦女子のみ着用することができた。

- チョゴリ (半回装) ……1-9、9-30、13-25、31-19、36-26、
 37-35、38-14、40-15、41-3、42-22、43-39、44-33、
 47-56、48-33、50-18、51-15、53-14、54-21
 襟、結び紐 (ゴルム)、袖先にチョゴリの色と異
 なる色の生地を当てたチョゴリで、わき下には飾
 り布を付けない。三回装チョゴリは両班家の女性
 のみ着ることができたが、半回装チョゴリは庶民
 にも着用が許された。
- チョゴリ (ミンチョゴリ) ……1-6、3-5、4-27、6-24、8-11、
 9-25、11-2、12-2、22-2、23-31、31-32、38-16、
 39-13、40-19、42-18、43-34、50-27、54-3
 襟、結び紐 (ゴルム)、わき下、袖先などに異な
 る色の布を当てない単色のチョゴリ。主に庶民の
 女性が着用した白のチョゴリを指す。
- 築地塀 ……41-50、44-41、46-30、47-41、48-49、49-43、
 50-37
- 杖 ……3-10、7-26、9-18、30-30、33-30、34-7
 束 ……7-41
 突き上げ竿 ……7-45
 突き上げ戸 ……7-44、47-52、48-53、53-43
 搦き屋 ……8-32
 付袖 ……47-25
 土壁 ……36-38
 綱 ……14-22
 壺 ……51-20
 爪立ちして坐る ……19-31
 積荷に腰掛ける ……15-32
 錘差込 ……22-16
 錘台 ……1-14、22-15
 吊り紐 ……16-25
 弦 ……25-43
 釣瓶 ……11-10
 釣瓶で水を汲む ……11-16
 釣瓶で水を飲む ……11-19
 釣瓶の縄 ……11-9
 蹄鉄 ……28-8
 蹄鉄用釘 ……28-22
 蹄鉄を打つ ……28-1
 蹄刀 ……28-21
 鉄屑 ……26-16
 鉄製の平鍋 ……51-26
 鉄輪 ……14-23
 手拭い ……51-36
 手拭い頭巾 ……3-4、4-26、8-17、10-27、15-11
 手をつなぐ ……34-8、47-54
 天秤棒 ……34-21
 天秤用チゲ ……34-22
- 天幕 (遮日) ……49-4
 砥石 ……26-29
 土居葺 ……25-10
 同行人 (陪行) ……47-40、48-1
 頭絡 ……5-23、13-34、21-10
 斗栱 ……33-10
 解けた笠紐 ……40-3
 土下座をする ……46-23
 取っ手 ……7-37、25-46
 土橋 ……3-15、4-35
 苫 ……24-25
 留金 ……5-4
 止瓦 ……49-46
 鱧 ……15-19、24-24
 虎皮の敷物 ……35-23、46-13、52-12
 鳥 ……24-2
 取り紐 (サツパ) ……16-6
 朝鮮相撲 (シルム) を取り組むときに太腿に結
 び、掴むところとする細長い木綿製の帯。
- 取り紐 (サツパ) に手をかける ……16-7
 井 ……10-8、29-19

な

- 轆 ……45-22
 長煙管 ……4-24、15-5、20-40、31-33、36-25、37-40、40-9、
 49-49、50-12
 中筒 ……23-10
 長櫃 ……27-13
 泣く子供 ……19-13
 鍋 ……31-26
 縄 ……25-16、28-11
 肉 ……51-27
 荷鞍 ……5-20、13-29、14-4、15-25、33-32、34-29
 荷鞍に座る ……13-31
 荷鞍の横木 ……14-19
 荷駄 ……13-28
 荷包み ……13-43、34-12、39-21、53-46
 荷包みを背負う ……33-29
 二頭牽きの犂 ……21-8
 担い綱 ……44-2、52-17
 担い綱を肩にかける ……44-3、52-14
 担い棒 ……46-12、47-17、52-13
 鋤 ……45-12
 鶏 ……13-42、54-15
 荷を背負う ……29-29、44-17
 貫 ……8-34

猫足膳42-4、51-19、54-41
捻り棒25-44
練木1-25、4-17、21-15
練先1-26
ねんねこ絆10-30、30-27
軒下34-32
鋸25-42
鋸の支柱25-45
法面54-43

は

刃25-47
灰皿50-13
背囊7-30、31-11、54-11
鋼26-13
履物2-28
履物を脱いで上がる49-52
白馬47-29
刷毛23-40
箸10-15、41-30、51-4
橋板47-48、54-36
橋桁3-19、4-36、47-49
箸で摘む41-31
芭蕉傘(芭蕉扇)44-15
柱1-21、7-42、9-6、23-12、36-39、41-24、49-37
蓮46-32
機23-1
旗33-22、45-7
機草23-7
畠4-31
裸足3-26、4-9、5-12、6-5、7-17、10-12、12-21、
13-19、20-14、25-13、27-17、32-42、39-16
跣足袋20-36、26-10、27-6
機を織る23-19
鉢20-44、28-24、41-11
桴17-10、31-4、42-29、43-3、47-16、54-6
鉢巻8-8、37-34
鉢巻(網巾)11-21、13-3、16-3、17-12、19-30、20-8、
22-21、25-23、27-2、29-32、32-25、36-3、37-6、
39-2、40-2、41-28
男性が鬘を結う際、髪の毛を持ち上げて整える
ために額にまわすもので、馬のたてがみもしくは
尾の毛を四角い形に編んでつくる。網巾をした上
に黒笠、草笠などの帽子や冠を被る。材料の質や
鉢巻(網巾)の紐を通す環の大きさなどで身分を
表わした。

鉢巻(網巾)の紐17-13、29-33、32-26
パッチ1-29、2-24、4-4、5-16、6-13、7-4、8-28、9-20、
10-9、11-26、13-18、14-9、16-5、17-5、18-3、19-16、
20-34、22-31、23-39、25-27、26-8、27-5、28-6、
29-28、30-7、32-28、36-10、37-9、39-9、40-31、
41-21、42-32、43-6、44-7、46-11、47-5、49-13、
50-25、51-9、52-10、53-8、54-9

上下分離式衣服の下衣の総称。女性のパッチは
下着化され、下衣として着るのは男性のみである。
幅が比較的広く、普段は裾紐(デニム)で裾先を
結んだ。

馬丁13-15、32-23、46-4、47-26、48-18
鼻木4-11、5-24、13-33、21-9
鼻を穿る19-22
腹帯4-13、13-37、14-15、15-27、21-12
梁36-40
飯台3-3、28-25、29-38
幡(高招旗)45-6
番頭20-29
桴23-18
火打石14-25
日傘35-3、44-16、48-30、52-1
日傘を持つ男52-5
引き綱4-14、5-6、13-38、14-5、32-31、47-28、48-19
髭26-18
髯28-13、41-34
庇2-10、7-35、34-34、49-48、50-30
庇のれん35-16
跪いて両手をつく19-24
跪く41-5、52-31
膝を抱える16-23、18-6
肘枕20-31
箒箒17-22
羊52-40
火箸7-38、50-15
火鉢7-39、40-37、50-14、52-34
火鉢(暖炉)51-25
紐30-13
白衣31-8
瓢箪2-30
屏風49-22
籬50-39
平瓦25-6
開き戸7-36、49-35、50-21
平鉢で酒を飲む10-22
瓶26-30、29-15
鬢髭40-4

風鐸……………33-7
 フェルト帽（戦笠）……………34-27、35-6、45-9、47-18
 フェルト帽（ボンゴジ）……………16-33、17-11、30-1、32-24、
 34-26、35-4、44-4、46-8、48-9、52-16、53-44
 フェルト帽の紐……………30-2
 深鉢……………29-35
 葺き土……………25-9
 葺き土を引き上げる……………25-14
 札……………31-13
 房帯……………20-37、40-8
 文机……………19-7
 筆……………52-26
 船を漕ぐ……………24-14
 文箱……………2-14
 舞服（舞童服）……………17-3
 踏石……………2-29、49-40、50-33
 踏み台……………8-2
 ブランコ……………38-9
 ブランコに乗る……………38-13
 振り向く……………46-24
 風呂……………5-2
 風呂敷（裸）……………3-1、10-36、29-18、42-3、54-40
 風呂敷包み……………38-18、42-5、53-7
 兵児帯……………41-20、50-3
 舳先……………15-2、24-23
 臍を出す……………29-26
 別監・官職……………41-25
 篋……………25-5
 扁額「抱瀨樓」……………33-8
 帆……………33-19
 棒……………28-10
 防寒衣（褌子）……………43-18、51-2、53-5
 防寒帽（揮項）……………36-34、51-34、53-23
 防寒帽（耳掩）……………51-5
 防寒帽（ナムバウイ）……………36-2、51-30、53-21
 防寒帽（風遮）……………9-16、51-6、53-2
 防寒用腕貫……………36-20、51-8
 帽子（グレ）……………50-1
 帽子（黒笠）……………11-24、12-23、13-1、14-28、15-3、16-13、
 17-18、20-30、32-34、36-14、37-4、39-1、40-1、
 41-32、42-27、43-14、44-9、45-2、46-1、47-2、48-2、
 49-10、50-8、52-6、53-22、54-31
 馬のたてがみで帽子とつばを作り、布や絲などで包んで黒の漆を塗った両班の着用する帽子。朝鮮時代の後期になると両班だけではなく訳官などの中人や庶民も着用した。
 帽子（黒笠）のつばを摘む……………36-15

帽子（紗帽）……………32-15、44-11、48-26、49-6
 帽子（朱笠）……………42-7、48-13、52-29
 帽子（戦巾）……………41-42、54-22
 帽子飾り（烏銅笠飾）……………36-4、37-16
 虎鬚（帽子飾り）を挿すための棒状の小さい筒。色の濃い銅で作るのが一般的である。棒の先端と中央部にある穴から糸を通し草笠に固定する。
 帽子飾り（虎鬚）……………34-25、35-9
 朱笠もしくは黄草笠などの帽子の縁に挿す4本の羽毛飾り。顯宗（1659—1674）の時、豊作であった麦畑をみて喜んだ王が、臣下に麦穂を帽子に飾らせたことから始まったとされる。英祖（1724—1776）の時に虎鬚に替わり、後期には細竹でも作られるようになった。
 帽子上部……………37-31
 帽子のつば……………37-30
 坊主頭……………38-24、43-4
 頬杖をつく……………42-17
 木鐸……………31-9、43-13
 干された洗濯物……………12-22
 掘立柱……………29-3
 解れ毛……………20-16、23-21
 解れた髪……………18-1
 解れた髻……………37-12
 火炉……………26-1
 解かれた帯（細条帯）……………37-29
 法螺貝……………45-13
 頬杖を付いて寝そべる……………16-32
 盆……………51-24
 本をめくる……………19-23

ま

舞う……………17-1
 前屈みで櫃にもたれかかる……………27-16
 前掛け……………38-21、49-34、50-22
 前がらみ……………23-20
 巻上げ髪……………1-8、2-1、3-12、9-24、11-1、12-12、22-1、
 23-30、29-5、31-17、36-24、37-33、38-1、39-12、
 40-14、41-2、42-9、43-32、44-32、47-55、48-32、
 49-33、50-17、51-14、54-20
 朝鮮時代中期ごろまで続いた既婚女性の一般的な髪型である。髪を後ろから編み、頭の上で丸くまとめて固定した。髪型を大きくするのが女性のおしゃれとされ、婦女子の間には高価な髻を入れる奢侈が流行った。
 楣……………37-43、50-43

捲り上げた袖 ……23-22、25-3、30-5、41-19
 髻 ……11-20、16-2、19-2、20-7、22-20、25-22、27-1、
 37-23
 髻（ブクサントウ）……8-7
 労働する女性が無造作に束ね結いをした髻を指す。
 髻（メンサントウ）……4-7、5-8、6-1、7-11、8-25、9-33、
 10-1、15-15、18-17、20-23、21-1、24-3、25-11、
 27-15、28-12、41-17、42-24、52-30
 鉢巻（マンガン）を使わず結った庶民の男性の髻をいう。
 髻髪（後髻）……1-18、49-18、53-39
 髪を後ろに編んで丸い髻のように結い束ねて簪を挿して固定した既婚女性の髪型。朝鮮時代の中期以降、一般的な既婚女性の髪形となった。その以前は編んで巻き上げた髪を頭の上部にのせる巻上げ髪が流行していた。
 又木 ……26-4
 松 ……51-37
 躑木 ……23-4
 丸瓦 ……25-7
 丸提燈 ……35-30
 真綿 ……22-8
 満月 ……9-1
 箕 ……6-15、24-7
 巫女 ……42-6
 水甕 ……1-39、11-11、34-13
 水甕を天秤棒で担ぐ ……33-28
 箕で篩う ……6-22
 向う鎚 ……26-17
 筵 ……1-20、2-22、6-9、20-38、22-27、27-12、40-12、
 42-16
 筵編機 ……2-18、22-25
 筵を編む ……2-20、22-24
 結び紐（ゴルム）……6-12、7-15、8-27、10-6、11-3、12-4、
 16-31、22-3、23-23、25-26、26-7、28-15、29-7、
 32-5、36-18、37-14、40-7、41-44、42-12、43-10、
 44-19
 結び紐（ソグゴルム）……22-4、31-20、38-17、40-16
 鞭 ……14-12、32-30、46-6
 胸懸 ……5-22、13-36
 胸をはだける ……11-22、18-12、20-17、25-2
 胸を露出する ……3-13、38-20、39-23
 牝牛 ……13-32
 飯 ……10-37
 飯茶碗 ……10-14、29-13
 雌鳥 ……50-38

餅 ……50-7
 持送り ……2-11
 畚 ……25-17
 物干棹 ……2-6
 物干紐 ……2-5
 糊 ……6-7、7-10、20-22
 揉上げ ……10-20、19-3、27-23
 糊殻の燃し火 ……23-44
 股引 ……3-25、4-8、7-16、10-4、15-17、18-21、20-11、
 21-3、24-5、25-4、27-28、34-23
 腿をさらける ……38-3
 門 ……50-42
 文書入れ（紅牌）……47-3
 門柱 ……1-42、7-48、9-40、44-45、48-51
 門柱（自然木）……44-37、53-32
 門柱の礎石 ……50-46
 門扉 ……7-49、9-41、37-42、44-46、48-52、49-42、50-45、
 53-34
 門楼壁（武砂石）……33-17
 アーチ門の周りにどっしりした支え石をおき、その両側の門楼壁に積む方形に加工した石材を武砂石という。

や

矢 ……39-7
 屋形（亭子閣）……35-17
 矢筒 ……35-8、45-3
 鋏 ……26-11
 柳 ……46-33、54-46
 山形の頭巾 ……7-28、31-1、43-21
 槍 ……45-25
 槍飾り（藁）……35-5、45-5
 結桶 ……11-14
 弓籠手 ……39-5
 湯呑 ……20-43、41-13
 弓 ……39-6、40-36
 甬道（雉）……33-15
 城壁の一部を突出させたところ、もしくは地形にそって両方に長く伸ばして作った細い通路で、胸壁を立てる。
 横木 ……8-4
 横座 ……26-12
 横笛 ……17-26、35-11、40-34、47-12
 寄棟 ……7-33、34-30

ら

羅将・官職	41-41
喇叭	45-10
欄干	33-14、49-51
両手を重ねる	40-40
両手を地面に付く	16-30
両手をすり合わせて祈る	42-20
両手を袖に入れる	9-35
両手を袖の中で合わせてお辞儀をする	35-26
両膝立て	1-30、15-30
料理をする	24-20
礼服（簡易団領）	32-37、48-15
礼服（大礼服）	49-16
輦台（平輦子）	44-1
櫓	15-20、35-15
蠟燭	32-41
朗読する	22-34
老婆	6-23、8-20、9-23、23-29、39-24、54-25
轆轤	23-2
ロバ	48-41
櫓を漕ぐ	15-18、35-14

わ

輪	11-28、30-22
若松の枝	3-17、4-37
脇に抱えて運ぶ	44-30
脇に抱える	46-26
渡し船	15-1、33-20
藁壁	7-51、8-38
藁履	1-33、3-11、4-6、7-8、8-14、9-15、11-8、13-27、 14-11、16-19、18-5、20-21、23-48、25-40、26-20、 29-39、30-9、31-6、32-11、36-36、37-11、38-22、 39-11、41-22、43-8、44-8、48-11、49-57、52-20、 53-11
藁履の底	18-19
藁束	2-21、20-45、22-28
藁にお	6-20、7-55、9-38
割符入れ	35-24、52-9

軍を動員する標として使われた発兵符（割符）を入れた巾着で、それを下げていることで軍を統帥する地位にあることを示す。発兵符（割符）は、丸い木の札の表面に「発兵」と書き、裏面には監察司など出兵責任者の称号を書いたもので、それを二つに割って一方は軍の責任者に与え、もう一方は王が保管して出兵時にそれと教書を下す。